



学校便り

長崎市立日見中学校

第8号
令和5年7月7日
文責 校長 山本

【日見ペーロン大会】

ペーロンは、一人で漕いでもなかなか前には進みません。ですが、漕ぎ手・太鼓・ドラ・舵取り・あか汲みがリズムよく声をかけながら一つの動きとなったとき、その力は何倍にも何十倍にもなり、前へ前へと進んでいきます。少々きつくても、声を出すことでふんばれるし、一緒に声を出す仲間がいるから、もう少し頑張ろうという気持ちにもなります。まさに、協働です。

今回の大会に臨むにあたり、わずかな練習時間にもかかわらず、生徒の皆さんの上達ぶりにとっても感心しました。来年は大人の部にまじってレースに出場できるよう、もう少し早めに取りかかりたいですね。

また、今回の大会を終えて、少々気は早いですが、このペーロン大会を受け継ぎ、そして次の世代に伝えるのは、間違いなく中学生の皆さんたちだと確信しました。皆さん、これからも地域を盛り上げていきましょう。

最後に、ペーロン協会の皆さん、今回はたいへんお世話になりました。そして、保護者、地域の皆さん、温かいご声援、ありがとうございました。今後ともどうぞよろしく願いいたします。



【長崎っ子の心を見つめる教育週間 7/1～7/7】

7月3日（月）、教育週間に合わせて、全校生徒に講話を行いました。長崎県が抱える人口問題を切り口として、20年後、30年後も、長崎県がこれまでと変わらず、「住みたい、住み続けたい、訪れてみたい、戻ってきたい」地域であるためには、皆さんの力が必要だということ。そこで、まず皆さんが周りの人に寄り添える人になってほしいということ。また、他の誰かがするだろうではなく、自分自身が、そして、一人ではなく周りの人と知恵を出し合い協力しながら取り組んでいくことが大事であることを伝えました。



【お知らせ】

7月14日（金）19時から、本校図書室にて部活動振興会を開きます。お忙しいこととは存じますが、各部の保護者部長さんとコーチの皆さんは、ご出席いただきますよう、よろしくお願いいたします。

では、私たちは…?



平和で豊かな社会を創る力と志を身につける

- ♡ 「他の誰か」ではなく、「自分」が
- ♡ 「一人」ではなく、「周りの人」と知恵を出し合い協力しながら